



「新 磐田市」子ども議会〈12月25日〉

## 11月定例会

市議会は、平成18年11月定例会を11月22日から12月21日までの30日間の会期で開催しました。今議会では、市長提出の平成18年度一般会計補正予算や市長の給料の特例に関する条例など13議案を慎重に審議した結果、いずれも原案のとおり可決・承認しました。また、議員発議による「脱退慰労金の返還等に関する決議」と「道路整備予算の確保に関する意見書」も可決しました。

なお、代表質問は、12月4日・5日の両日にわたり各会派を代表して5名の議員が、一般質問は、12月6日に5名の議員が行い、市政のあらゆる分野から市長・教育長の考えをただしました。

## 主な内容

(ページ)

- 市長の給料の特例に関する条例  
脱退慰労金の返還等に関する決議 …… 2
- 代表質問 …… 3
- 一般質問 …… 6
- 陳情、特別委員会活動報告  
審議結果一覧表、2月定例会の予定 …… 8

### 市長の減給条例を可決

旧磐田市外2組合職員互助会は、合併後も引き続き市職員である者に脱退慰労金を支給しました。これが適切でなかったと判断するに至ったため、旧市職員に公費負担相当分の返還要請をすることにな

りました。本案は、同会に対する市長の監督責任を明らかにするためのもので、主な内容は、18年12月から19年4月まで市長の給料月額百分の20を減額するものです。全会一致により可決。

### ◎脱退慰労金の返還等に関する決議

旧磐田市外2組合職員互助会は、旧磐南5市町村の合併に伴い解散したが、その際に職員の掛金及びそれと同額の旧磐田市からの交付金により積み立てられた運営費約10億4千万円を脱退慰労金として、引き続き新磐田市の職員となる旧磐田市の職員に支給した。

また、本年5月に参議院の要求により行われた会計検査院の実地検査の結果、合併による経緯は理解できるが極めて多額であること及び脱退慰労金の是非については言えないが、参議院に報告すべき事例であることであった。以上のことが10月13日に市長より全議員に報告がなされたが、脱退慰労金の支給の手續きにおいては法令上等の問題はないとしても、支給された脱退慰労金の半額は公金であり、しかも多額であること及び県内において公金が含まれた脱退慰労金を支給したのは、旧磐田市外2組合職員互助会のみであることは、理解しがたいものである。旧磐田市職員共済制度に関する条例の第8条では、「市長は互助会の業務を監督し、必要な報告を求めるところがある」とあり、市長の責任は重大である。

磐田市議会としても、市民の負託に十分に応えるために、各種団体への交付金については、今後も審査上の課題として認識するものである。よって、市当局におかれては、市民感情を踏まえ、十分な市民への説明を果たすとともに、次のとおり速やかな対応を強く要請する。

- 職員への十分な説明及び理解が得られるよう努めたのちに、支給された脱退慰労金の公金相当分の職員からの返還が、円滑に行われるよう努力すること。また、その返還方法についても配慮すること。
- 職員互助会への交付金等の交付は行わないこと。
- 地方公務員法第42条では職員の厚生制度の実施は、市の責務として規定されており、その適切な実施を行うこと。

以上、決議する。

### 一般会計補正予算を可決

主な内容は、●磐田原総合開発株式会社経営を支援するための貸付金1億5千万円の追加、●木造住宅耐震補強助成事業補助金の申請者増加に伴う増額、●大藤小学校屋内運動場耐震補強事業の追加

●職員の人事異動等に伴う人件費の補正などです。

賛成30(公・無)、反対3(共)により可決。

### 討論

貸付根拠はつじつま合わせ  
税金の投入は中止すべき

### 反対 (共産) 磐田原総合開発株式会社に対し、新たな返済計画を基にした貸付根拠は、

つじつま合わせであり納得できない。事業の収益性は、疑問だらけで住民には到底説明できない。また、27年度に一括返済すべき13億5,900万円の延伸について計画が示されておらず、今後の方向性が示されない中で税金投入は中止すべきである。現時点での対応の仕方は理解できるものではなく、賛成できない。

今後の事業展開には  
必要な貸付と理解

### 賛成 (無所属) 第二セクター

磐田原総合開発株式会社が行ったインターチェンジ及び遠州豊田パーキングエリアの建設は、公共事業そのものであり、市への貢献は多大なものがあ

る。市が筆頭株主としての責務を果たすことは、関係者間のさらなる信頼関係を構築するためにも非常に重要である。同社が今後、収益事業を展開していくために必要な貸付金であることには理解を示し、賛成する。

### 討論

長寿を喜べる内容と  
ほど遠い

### 反対 (共産) 後期高齢者医療制度の導入は、医療費総額のうち高い割合を占める後期

高齢者の医療費を、負担公平化の名のもとに加入者等に負担を押しつける内容であり、高齢者が安心して医療を受け、長寿を喜べる内容とほど遠い。本市に住む高齢者が安心して医療を受けられ、この地域で住み続けられる行政を求める立場から反対する。

### 静岡県後期高齢者医療広域連合の設置を可決

本案は、20年4月1日から現行の老人保健制度にかわり、新たに75歳以上の方が加入する後期高齢者医療制度を創設し、この運営主体を県内すべての市町が加入する広域連合で行うため、静岡県後期高齢者医療広域連合の規約を設定するものです。

### 賛成30(公・無)、反対3(共)により

可決。

設置は義務  
遺漏のない対応を

### 賛成 (無所属) 広域連合の

設置は、後期高齢者医療制度に必要であり、高齢者の医療の確保に関する法律でも18年度未までの設置が義務づけられている。

現段階では、後期高齢者医療制度等について不透明な部分も多いと思うが、20年4月の制度移行において円滑な事務処理ができるよう、遺漏のない対応を願い賛成する。



# 市政を問うー 代表質問

## 安心・安全対策／男女共同参画社会 医療の諸問題

公明党磐田 質問者 山際 今子 議員

### 安心・安全

**質問** 学校の安全対策の現状をどう認識しているか。また、放課後の児童の居場所づくりを進めるため国が創設する放課後子どもプランへの対応は。

**答弁** 全通学路の安全点検や

防犯教室、スクールガード等の活動が行われており、今後も家庭や地域等との連携が深まるよう取り組みたい。放課後子どもプランは運営委員会を設置し、全小学校で子供たちの安全で安心な居場所としての放課後子ども教室が開設できよう、運営スタッフ確保などの課題解決と具体的な導入方法を考えていきたい。

**質問** 豊田町駅



豊田町駅

にエレベーターを設置する考えは。

**答弁** 事業主体となるJRの要請を踏まえ、19年度から設置できるよう関係機関と協議を進めている。

### 男女共同参画

**質問** 少子社会対策から見る男女共同参画社会の現状と対策は。

**答弁** 市民意識調査では保育施設等の整備や男女平等・相互理解の学習の必要性が挙げられた。保育環境の充実や父親が育児参加するための意識啓発などの施策を展開したい。

**質問** ドメスティックバイオレンスの被害の実態と対応は。

**答弁** 18年度は

### ◎道路整備予算の確保に関する意見書

(内閣総理・総務・財務・国土交通大臣、衆議院・参議院議長あて)

道路は、地域住民の豊かな生活の実現と活力ある地域づくりのため、また、地方の時代における地域の振興を図る上で最も基本的な社会資本であり、その整備促進には極めて大きな期待が寄せられている。

しかしながら、交通量の増大や慢性的な交通渋滞などにより、交通事故が多発していることも、交通環境の悪化を引き起こし、市民生活や経済活動に深刻な影響を及ぼしているのが現状である。

真に豊かで活力に満ちた社会を実現するためには、道路整備は必要不可欠であり、長期的観点に立った計画的な整備を進めていく必要がある。しかし、本市における道路整備の状況はいまだ十分ではなく、交通渋滞の解消や地域の活性化のため、幹線道路から生活道路に至るまで、体系的な道路網の整備が住民の等しく熱望する課題となっている。よって、国におかれては、道路特定財源に関して一般財源化を基本方針とした見直しの議論がされている中、こつした本市の実情を踏まえ、次の事項に特段の配慮をされるよう強く要望する。

- 1 計画的かつ着実な道路整備を強力に推進するため、道路整備に必要な予算を確保すること。
- 2 渋滞対策、交通安全対策、沿道環境対策、安全で快適な生活環境づくりを一層推進するため、道路整備に必要な予算を確保すること。
- 3 特定財源の見直しに当たっては、地方の道路整備の実情や意見を十分把握して進めること。

10月末現在で32件の相談があった。2名の女性相談員が交代

で相談に当たっており、必要に応じ警察に情報提供するなど連携を図りながら対応している。

### 医療

**質問** 周産期医療の充実の方策として地域周産期母子医療センター開設について見解を。

**答弁** 市立総合病院の中期計画においてセンターの整備

を位置づけており、具体的に検討を進めている。

**質問** 医師の過失を立証できなくても患者に金銭補償する医療事故における無過失補償制度の創設について見解は。

**答弁** 現段階で詳細は不明だが、被害者救済や医師不足対策にもなることが期待される。今後の動向に注意し、市の果たすべき役割について適切な対応をしていく。

## 会派名簿

(平成18年12月4日現在)

(代表者)

### ◇五和会

- 元場千博 宮澤博行
- 野崎正藏 鈴木正孝
- 早川勝次 加藤治吉
- 鈴木晴久 河島直明
- 鈴木昭二 寺田仁一
- 川村孝好 岡 實
- 佐々木信仁 藤森康行
- 石野 泉 増田暢之
- 馬淵源一 山田安邦
- 大庭隆一 小木秀市
- 高安和雄 桑原全太郎

### ◇開誠会

- 渡部 修 田之上康成
- 八木啓仁 寺井信男

### ◇日本共産党磐田市議団

- 高梨俊弘 根津康広
- 稲垣あや子

### ◇公明党磐田

- 小野泰弘 鈴木喜文
- 山際今子

### ◇未来

- 玉田文江 川崎和子

# 新年度予算編成 広域行政

五和会 質問者 元場千博議員

予算

**質問** 19年度予算における各自治会地域要望への対応は。

**答弁** 主要道路の整備など多額の財源を要する事業があり、要望すべてに沿えない状況である。行財政改革を推進し、そこから生まれる財源を市民サービスの向上に役立てたい。

**質問** 磐田駅北口広場整備事業の進め方は。

**答弁** 現在の2倍程度の面積に拡張する計画を立てたが、一部地権者の同意が得られず法的に手続に至っていない。粘り強く交渉を重ね、20年度からの事業着手を目指したい。

**質問** 駅北区画整理事業は、当初の倍の事業費と期間をかけて進めているが、進捗状況と今後の予定は。

**答弁** 18年度末までに、仮換地指定を約90%、家屋移転は約80%の完了を見込んでいる。今までの実績から、23年度に完了すると判断している。

広域行政

**質問** 国の方針では人口30万人を目安に消防を広域化している。今後の進め方は。

**答弁** 消防広域化は県の推進計画に基づくことになるが、広域化の枠組みが中遠地域でまとまるよう、近隣自治体とも十分連携をとって進めたい。



消防署

**質問** 救急救命医療や小児科、産婦人科における中遠の公立病院間の連携は。

**答弁** 救急救命医療では、必要に応じ近隣の病院へ転送し治療を行う等の連携を図っている。また、市立総合病院ではハイリスクな妊産婦と新生

児を対象とした周産期機能の強化を図り、地域の中核的な医療機関としての役割を担っていききたい。

児を対象とした周産期機能の強化を図り、地域の中核的な医療機関としての役割を担っていききたい。

**質問** 農業等における他の行政機関等との中遠の連携は。

**答弁** 中遠地域農業振興協議会では、特産物であるメロンや茶の経営コスト縮減などの情報交換を行っている。観光

## 新年度予算の課題 行財政改革と福祉の充実

日本共産党 質問者 根津康広議員  
磐田市議会

新年度予算

**質問** 19年度予算の最重要施策は。また、起債残高の現状と市の財源確保策、弱者・低所得者の支援策は。

**答弁** 行財政改革の断行と総合計画の着実な推進が重点目標である。一般会計の起債残高は、18年度末で約610億円の見込みである。財源は、短期的には市税の徴収率向上や事務事業の見直しを、長期的には企業誘致等による新たな財源確保を検討している。

**質問** 新市まちづくり計画の事業の優先順位づけは。また、

では、西部地区観光協議会が組織され、観光ガイドブックの作成や物産展の開催等により、各地域の活性化に努めている。今後関係機関、団体と体制づくりに努力していききたい。



**質問** 凍結・中止を含めた見直しはあるか。

**答弁** 最優先事項は、合併特例債事業と市民の安全・安心対策の推進であり、総合計画の基本計画等や財政計画を策定する中で検討していききたい。厳しい財政状況の中で凍結する事業もあり得ると考える。

**質問** 行革と福祉の話を生まない入札制度の確立をどう図っているか。

**答弁** これまでも競争性確保



乳幼児医療費受給者証

の拡充は現時点では考えておらず、県市長会等を通じて、乳幼児医療費全額助成制度の創設を国へ要望していききたい。

の対策を行ってきた。19年度以降も一般競争入札の対象金額引き下げや参加希望を広く認める指名競争入札、電子入札の導入など、競争性を高めながら優良な工事の施工を目指し、制度改正に努力したい。

**質問** 生活保護の現状と改善点は。申請の拒否はないか。

**答弁** 18年11月現在で165世帯、203人が生活保護を受けている。18年度から経験豊かな専任の相談員を配置し、時間をかけてきめ細やかな対応をするよう努めている。相談者に対しては、一人一人の事情をよく聞くように努めており、面談する中で申請の希望があれば、申請を拒否することはない。

**質問** 乳幼児医療費の小学校卒業までの完全無料化を。

**答弁** 県の制度は16年度に通院の対象年齢が未就学児まで拡大された。市独自の

の拡充は現時点では考えておらず、県市長会等を通じて、乳幼児医療費全額助成制度の創設を国へ要望していききたい。

# 新年度予算編成の基本方針 いじめ社会をどう見る

未来 質問者 玉田文江議員

## 新年度予算

**質問** 19年度予算編成に当たり、文化教育充実への姿勢は。

**答弁** 具体的な事業を総合計画の基本計画に位置づけ、着実に推進したい。また事務事業の見直しや効率化の推進等で生まれてくる財源を有効に配分したい。

**質問** 公共施設従事職員には、利用者に施設を気持ちよく利用していただくことが仕事であるという意識が必要である。指導の徹底はどうか。

**答弁** 行革プロジェクトにおいても接遇の総点検、点検結果に基づく接遇向上に取り組



んでいる。市民が満足できるような接客対応に心がけたい。

**質問** 障害者の就労の場の拡大や充実、余暇支援をどうしていくのか。

**答弁** 国や県の事業を積極的に活用するとともに、関係機関と共同で事業を実施し、企業の理解を得る中で雇用拡大を促進していきたい。また、知的障害者を市の正規職員と

して雇用することを検討している。余暇支援には、移動支援事業や余暇活動の場づくりなどを支援していきたい。

## いじめ

**質問** 教師間のいじめの実態把握と対策は。

**答弁** 各学校では職員間で問題が発生した場合、相談に応じる体制ができています。問題が認知されれば、校長、市教委に報告される。学校は解決に取り組む、市教委も助言等を行う。今後教師間の信頼の大切さなどを指導したい。

# 行財政改革の推進 教育を取り巻く諸課題

開誠会 質問者 田之上康成議員

## 行財政改革

**質問** 市長の号令下で始まった行財政改革のこれまでの取り組み状況の成果と課題は。

**答弁** 各種計画等の策定や予算の枠配分方式の導入など、具体的な取り組みを始めた。課題は、市民との協働に関するものなど、外部の関係団体等にかかわる具体的な取り組みを行っていく段階である。

る」は19年度当初に適地へ開設ができるのか。現状は。

**答弁** 豊田保健センター駐車場の一部を適地とし、19年度中に新施設をつくる。早期に開設できるよう努力したい。

**質問** 心の教育や芸術文化を推進するため、子供たちに早いうちから良質な文化の鑑賞や体験をさせるべきでは。

**答弁** 園や学校で読書活動の推進や音楽鑑賞等を実施して豊かな情操をはぐくむとともに、道徳の時間等で社会性の涵養や互いを尊重する態度の育成を今後も図っていく。

に進めることが基本と考える。

**質問** 市長の行財政改革に取り組む意欲が私たちに伝わってこない。市長の意欲は。

**答弁** 行財政改革は必ず遂行する決意である。

## 教育

**質問** 本市のいじめの件数と現状は。

**答弁** 17年度は小学校12件、中学校10件で、18年度は10月末までに小学校25件、中学校



外国人学校

9件のいじめの報告があり、内容は、人の嫌がる言葉を言う、物を隠すなどがあった。いじめは人間として絶対に許されないことなどの基本認識のもと、防止、発見、解消等の対応を行っている。



**質問** 「ふるさと先生」制度では、教師と教室の確保が重要な問題と思うがどうか。

**答弁** 勤務条件の向上を図るため、週休日の部活動手当の新設などの改善をした。来年度もさらに条件が向上するよう検討していきたい。教室については、現在の教室数で対応は可能となっている。

**質問** 市内にある外国人学校の現状と市の支援策は。

**答弁** 市内3つの南米系外国人学校には義務教育年齢の子供が200人以上通っている。劣悪な環境であることは承知しており、そこで学ぶ子供を第一に考え、前向きに対応していきたい。

# 一般質問

## 行政運営の展開 安全・安心のまちづくり

公明党 小野 泰弘 議員

### 行政運営

**質問** 広域で取り組むべき行政課題について認識は。

**答弁** 環境や観光等は、広域的な取り組みが効果的・効率的であり広域連携についてさらに検討したい。また、消防の広域化は、今後示される県の推進計画に従って検討を進めるほか、発達医療に係る福祉施設は、中遠地域内で検討する必要があると考える。

### 安心・安全

**質問** 新しい生活保護制度に対応する体制の整備状況は。

**答弁** 毎年2名を研修に参加させ、生活保護の担当として必要な幅広い知識を持った職員に養成に努めている。

**質問** 若年者雇用対策として、県が実施するヤングジョブス

プロジェクトの出張所を市内に設置できるよう働きかけを。

**答弁** 若者への就労支援の必

要性は高まっており、中遠広

域圏として、出張所設置等を

県に對し要望していきたい。

**質問** 学校における教室の暑

さ対策は、児童の健康管理の面からも必須課

題である。暑さ対策の現状と今後の対応は。



教室の扇風機

**答弁** 現在は地震対策を最優先課題としてい

## 地震防災対策の強化／国民保護計画 健康管理・予防施策の充実

日本共産党 高梨 俊弘 議員

### 防災対策

**質問** 市民の防災意識の向上をどう図るのか。

**答弁** 地震対策マニュアル等の全世帯配布を行うなど、防

災意識の高揚を図っている。

**質問** 自主防災組織の充実、

活性化の現状と課題は。

**答弁** 災害図上訓練の実施な

るが、19年度から小学校低学年等に扇風機設置を計画的に実施したい。

**質問** 改正動物愛護管理法の指針に基づく適正飼養、所有明示推進、災害時対策等について、市としての対応は。

**答弁** 19年度に県が策定する動物愛護管理推進計画をもとに、広報や指導に努めたい。

**質問** 合葬式市営墓地についての見解は。また、市営墓地について市民意識調査を行う考えは。

**答弁** 新霊園建設に当たり、合葬式墓地を取り入れる方向で検討したい。アンケート調査は考えていない。

的に相談をしながら考えていきたい。

### 国民保護

**質問** 国民保護協議会の今後のあり方と国民保護計画についての見解は。

**答弁** 市の計画案を一部修正し、次回の協議会に諮問する予定になっている。協議会の答申を受け、県と本協議を行い、承認後、議会に報告し、市民に公表していく。



健診センター

**質問** 自治体の任務は国に對し有事を起こさせない外交を求めると考える。見解は。

**答弁** 平和と安全の確保には、

外交努力や国際平和協力を通じて国際平和と協調を図ることが最も重要と認識する。

### 健康

**質問** さわやか健診など、健康診断制度の現状と課題は。

**答弁** 18年度の受診者数は、さわやか健診が5,528人、総合健診が7,074人、開業医の基本健診が6,400人を見込んでいる。課題は、働き盛りの年代の受診者が少ないことがある。また、現在無料の方以外の対象者の無料化は考えていない。

## 生活環境

### なぎの木文化振興会事業

無所属 岡 實 議員

### 生活環境

**質問** 外国人のごみの出し方は各自治会の緊急課題である。抜本的対策と指導は。

**答弁** 分別の不十分なアパートなどには人材派遣会社等を通し改善を図ってきたが、対処療法的に行っているのが現状で、抜本的な方策は見つかっていない。他市の先進事例を

調査研究し、解決方を模索・検討していきたい。

**質問** ごみの不法投棄には目に余るものがある。現状と今後の取り組みはどうか。

**答弁** 不法投棄の数量や件数の把握は困難である。ごみ分別の難しさなどが不法投棄の理由との指摘もあり、引き続きごみの出しやすさの工夫を

重ねていきたい。

**質問** 環境美化指導員は35人体制でよいのか。

**答弁** 充実強化について検討していきたい。

文化振興

**質問** なぎの木文化振興会事業の基本的考えと見直しは。

**答弁** 合併協議に基づき19年度まで舞台芸術を中心とした事業を継続し、20年度からの事業一元化を図るため調査・研究をしている。

**質問** 事業内容と事業費の見直しは。

**答弁** 市の自主事業

**質問** 市職学校事務員をすべ



なぎの木会館

**質問** いさだ友の会など、友の会事業についての考えは。

**答弁** 友の会事業は20年に統一できるように調整している。

## よりよい教育行政を 磐田市補助金のあり方

日本共産党 稲垣あや子議員

教育行政

**質問** 「ふるさと先生」制度の実績と19年度全学年に配置する場合は必要人数と金額は。

**答弁** 一人一人の子供の理解

度等に応じた指導が可能にな

た。全学年での実施には43人

約1億7、200万円必要となる。待遇は、18年度に週休

は、地域性、効率性、各館の特性等を考慮している。例えば、いさだホールでの自主事業は、オーケストラを中心とした音楽性の高い事業を中心に展開するなど、各ホール相互に効率的な運営をしたい。事業費は、市全体の自主事業予算の中で、最大限の効果を上げるよう事業展開を図っていきたい。

18年度は1人で2校を兼務していた4校と未配置の1校に配置した。19年度は支所職員が兼務する2校と未配置1校に配置したい。

**質問** 18年度創設が発表された放課後子どもプラン実施に当たり、放課後児童クラブと放課後子ども教室の拡充を。



放課後子ども教室

**答弁** 前者は未設置地区への開設、受け入れ時間や学年の拡大などの拡充を図りたい。後者は運営スタッフ確保などの課題解決

に当たっていく。

**質問** 本市のいじめ対策のため教師集団のチームワークを。

**答弁** 学級担任が一人で抱え込むことがないよう、全教職員が一致協力して指導に取り組むようにしている。

では、公益性、効率性、必要性等の観点からチェックすべきと考える。今後の計画は、事業の公共性等の観点から、19年度に見直し基準を策定し、20年度に実施したい。

**質問** 福祉や教育分野の補助金は、一律に削減すべきでないと考えらるがどうか。

**答弁** これら分野に限らず見直すことは必要と考える。

## いじめ問題

公明党 鈴木喜文議員

**質問** 不登校をいじめのシグナルととらえ、その中身を探ること

で隠れたいいじめを発見できると考える。いじめと不登校の相互関係をどうとらえているか。

**答弁** いじめが原因で不登校になったケースは、17年度に小学校で1件の報告があった。18年度は10月末現在ではないものと把握している。

**質問** いじめの実態調査はどのように行われているか。見直しの考えは。

**答弁** 以前より国・県の調査に加え、毎月学校で3点の項

目により調査を実施している。いじめの点について、徹底的な調査ができるような項目を学校職員が理解していくよう話していきたい。

**質問** 各学校からのいじめの報告に対する評価の現状は。

**答弁** いじめの報告の有無により、その学校に対する評価が変わることはない。

**質問** いじめを相談する窓口を少しでもふやしていくことが重要である。いつでもどこからでも相談できるメールを活用



メール

し、一日も早く専用メールアドレスの設置を。

**質問** メール相談は、気軽さや時間を選ばないというメリットがある反面、匿名性や相手の心情、雰囲気伝わりにくいことによる危険性もある。先進地等も含め、前向きに検討していきたい。

**質問** いじめ問題解決後のフォローや孤立化を防ぐ対策は。映画、講演会の活用も一考を。

**答弁** 解決後の望ましい人間関係づくりもいじめ対応の大きな柱と考え、学級編制の配慮等とともに、日常の場面

面で指導を行っている。生の声を聞かせる実際のな指導の一環として、映画や講演会も一つの方法として考えていきたい。

・ 陳 情 ・

「磐田市竜洋地区(天竜川河口)への風力発電施設建設計画の凍結」を求める陳情

【陳情者】

エコ・エネルギーを考える会

代表 今村 信 大さん

本陳情の趣旨は、民間会社により計画されている竜洋地区内への風力発電施設の建設に関し、自然生態系への負荷が大きく、野生生物の保護・保全のため、また施設の安全性への不安があるため、議会として本計画の凍結を申し入れてくださいというものです。

所管の総務委員会で慎重に審査した結果、「現在ある風力発電施設による野生生物への被害が実態的に把握されていない現状をみると、現在行われている環境影響調査の結果と19年1月から2月に行われる有識者会議での結論を尊重し、事業を推進すべきかどうかを決めればよい」等の意見により「不採択とすべきもの」と決定。12月21日の全員協議会においても委員長報告に賛成25(無)、反対8(公・共・無)により「不採択」と決定しました。

審 議 結 果 一 覧 表

全会一致により可決・承認された議案

- (1) 市長の給料の特例に関する条例の制定
(2) 専決処分(医療事故の損害賠償額の決定)
(3) 専決処分(医療事故の損害賠償額の決定)
(4) 18年度介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
(5) 水道事業会計補正予算(第1号)
(6) 農業集落排水処理施設条例及び農業集落排水事業分担金徴収条例の一部を改正する条例の制定
(7) 下水道条例の一部を改正する条例の制定
(8) 消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定
(9) 財産の譲渡
(10) 財産の譲渡
(11) 財産の取得
(12) 脱退慰労金の返還等に関する決議
(13) 道路整備予算の確保に関する意見書

賛成多数により可決された議案

- (1) 18年度一般会計補正予算(第2号)
(2) 静岡県後期高齢者医療広域連合の設置
これら賛成多数により可決された議案は、討論が行われ、表決結果はいずれも賛成30(公・無)、反対3(共)でした。

そのほか本会議で議題となった案件

- (1) 市議会議員の派遣

委 員 会 視 察

所管する事項を調査するため、先進都市へ行政視察を行いました。

○建設環境委員会

(平成18年10月23日~25日)

視察事項

- (1) 環境保全 (香川県丸亀市)
(2) ごみ処理施設 (愛媛県松山市)
(3) 都市景観 (広島県竹原市)



ホームページを開設しています

磐田市のホームページからご覧になれます。議員の紹介、議会日程、本会議・委員会の記録などを掲載しています。

http://www.city.iwata.shizuoka.jp/ (磐田市ホームページ)

「市議会情報」をクリック

特別委員会活動報告

市議会では、本年度3つの特別委員会を設置し活動しています。

○行財政改革特別委員会

- (1)第10回(平成18年11月1日)
・教育委員会との意見交換
(2)第11回(平成18年11月16日)
・生活環境部との意見交換
(3)第12回(平成18年12月1日)
・行財政改革進行管理委員会について

○ごみ処理施設特別委員会

- (1)第9回(平成18年11月8日)
・視察研修(静岡県)
(2)第10回(平成18年12月19日)
・新ごみ処理施設の経過報告・発注のあり方について

○医療問題特別委員会

- (1)第6回(平成18年11月10日)
・南部救急医療機関検討委員会について
(2)第7回(平成18年12月18日)
・病院経営に関して市長との意見交換
・南部救急医療機関検討委員会について

2月定例会の予定

— 2月20日~3月23日(32日間) —

日程は変更する場合がありますので、事前に議会事務局(電話374822)までお問い合わせください。

- 2月20日 本会議(議案の上程、説明・質疑等)
常任委員会
21日 常任委員会(審査予備日)
23日 本会議(議案の採決、予算議案等の上程・説明)
3月1日 本会議(一般質問)
2日 本会議(一般質問)
5日 本会議(一般質問)
6日 本会議(一般質問予備日)
7日 本会議(議案に対する質疑)
8日 本会議(議案に対する質疑)
9日 常任委員会
12日 常任委員会
13日 常任委員会
14日 常任委員会
15日 常任委員会(審査予備日)
23日 本会議(議案の採決等)
いずれも午前10時から